

「人権」ってなに？

～大切な人権について考えてみよう～



生まれつき

小学六年生

私の妹には、耳に生まれつきの赤いあざがあります。そのあざは、レーザーという機械で焼いて、色を薄くするしかありません。レーザーで焼いた後は、やけどと同じようなもので、薬をぬってガーゼでおおいます。外に出た時は、やっぱり目立ちます。中にはジロジロと妹を見てくる人もいます。私はそんな人は大っきらいです。妹は気にしませんが、私はようしやなく、にらみつけます。

妹が一年生になるころ、私とお母さんはごく心配でした。「友だちから、何か言われないか」と思ったのです。

最初のころは大丈夫でした。あざのことを聞かれて答えても、みんなやさしく、「そうなんだ、治るといいなあ。」と言ってくれました。

でも、みんながクラスになれ始めたころ、妹

が泣いて帰ってきました。

「クラスの男の子にからかわれた。」

と言っていました。私は怒るよりも先に、本当に悲しくなっていました。妹がどれだけ痛い思いをして頑張っているか。レーザーをして、みんなの前に出ることに、どれだけの勇気がいるか。何もわからないのに、どうしてそんなことを言うのだろうと思いました。

妹は、今でもたまに、バカにされることがあります。妹のあざのことは、人種や障がい者に対する差別と同じことだと思います。どこの国の人だとか、車いすに乗っているとか、そういうことはすべて関係ないことだと思います。

生まれつき何かを持っている人がいようがいまいが、みんないっしょだと思えます。「いろんな人がいるんだ」ということ、そして、生まれつきのものはなおせないし、なおす必要もないと思うし、同じ人間なのだから、支え合って、差別しないでほしいと思います。そして、みんなが仲良くできたらいいなあと思います。

人権作文集「人権の芽」第13集より

伊勢市環境生活部
人権政策課

TEL (0596) 21-5545
URL <http://www.city.ise.mie.jp>

表紙：平成30年度人権尊重啓発ポスター小学3年生の部 市長賞

2019.9 1,300部
再生紙を使用しています。



「人権」ってなに？

「『人権』って何だか難しそう」「今、困っていることはないし、いじめや差別はしていないから、自分には関係ない」そんなふうに思っていないですか。

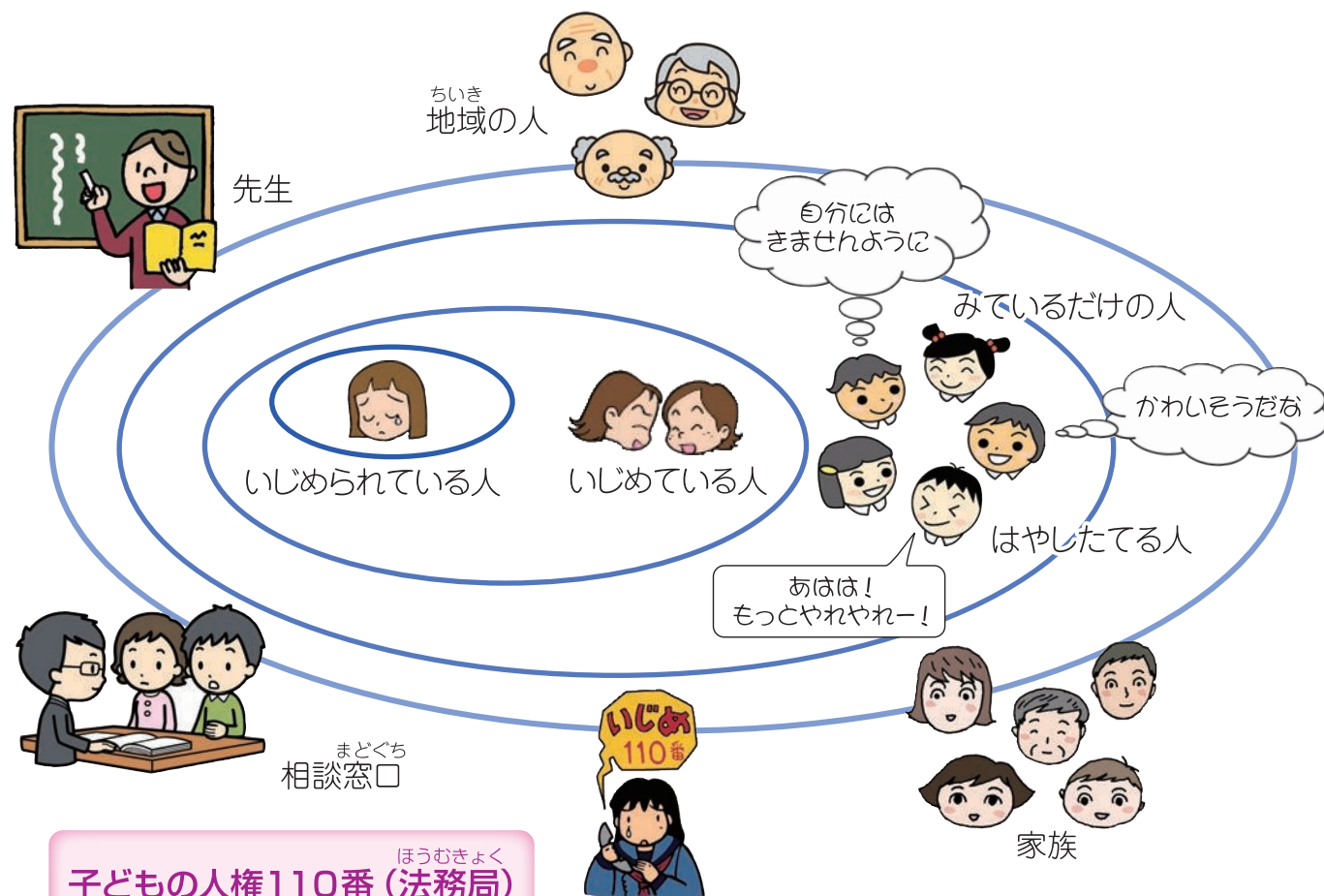
「人権」とは、誰もが自分らしく幸せに生きるために、すべての人が生まれながらに持っている権利です。「人権」は「健康」とよく似ています。病気やケガをした時に、あらためて健康のありがたさがわかるように、「人権」が守られている中ではなかなか気がつきませんが、命と同じくらいとても大切なものです。

身近な人権について考えよう

いじめ

いじめは、いじめる人・いじめられる人だけの問題ではありません。まわりで、はやしたたりすることはもちろん、見ていただけだったり、見て見ぬふりをしたりすることも、いじていることと同じです。

いじめを見かけたり、自分が巻きこまれたときには、周りの人にすぐに相談しましょう。



子どもの人権110番 (法務局)
0120-007-110

インターネット

インターネットは、友達とコミュニケーションをとったり、動画やゲームを楽しんだり、買い物をしたりと、大変便利なものです。

しかし、使い方を間違えるとトラブルになることがあります。

自分や他人の個人情報をインターネットに公開したり、人の悪口を書き込んだりすることはやめましょう。



みんなの人権110番 (法務局)
0570-003-110

しょう 障がいのある人



障がいのある人は、まわりの人の何気ない言葉などに傷つけられていることがあります。

- ・ 障がいがあることを笑われる
- ・ 「へんな人がいる」などと言われる
- ・ 怖いものを見るような目で見られる

自分がもし障がいのある人の立場だったら、どのように感じるでしょうか。

その人の立場に立って、自分の行動が人を傷つけていないか想像してみましょう。

人権侵害や差別を受けている人は、なかなかそのことを他の人にいうことができず、一人で悩み苦しんでいるかもしれません。また、「助けてほしい」というサインに、わたしたちが気づけていないこともあるかもしれません。そのようなサインに気づくために、その人の立場に立ち、その人が何を考えているのか、何を必要としているのか、考えてみましょう。

「人権」は、悩みを抱える人だけの問題ではありません。人と人が大切に思いあえる住みよい社会をつくるために、すべての人が「人権」を自分の問題として考えることが大切です。